

## 合同会社 おおぞら kids salon こたん

愛知県春日井市六軒屋町 1 丁目 24 番地  
URL : <http://hp.kaipoke.biz/daz/>

代表取締役 **池田 翔太郎**

×

ゲスト **布川 敏和**

(2020 年 11 月取材)



© 2021 HOUDOU-TSUSHINSHA Co.,Ltd.

## 世界標準の“ABA療育”で 子どもたちの「生きる力」を育てていく

—こちらでは、ABA（応用行動分析学）に基づく療育が行われているとか。ABAとはどういったものなのか。

発達障害をもつ子どもたちのスキル獲得や問題行動をなくすために我々はABA療育を行っています。ABAとは行動の前後を分析し、その前後の刺激を操作することで行動を増やしたり減らしたりする学問です。どうすれば子どもたちの行動が変わるのか、どんな頻度で問題行動が出るのか、詳細にデータを取り、その分析を療育に応用していきます。日本では運動療法、作業療法、感覚統合療法など様々な療育方法が溢れています。西洋では既に様々な比較研究が行われており、唯一、科学的に有効性が示されたのがABAに基づく療育でした。そのため、アメリカやカナダではABA療育が保険適用されており公費で実施されています。

—世界ではスタンダードな方法論だと。池田社長がABAを知ったきっかけは？

実は、私は元々学校教員を目指し、大学の教育学部に進んでいたのです。その中で教育・福祉を学んでおり、ASD（自閉スペクトラム症）やADHD（多動性症候群）、LD（学習障害）といった子どもたちと接する上での知識は、それなりに持っていました。しかし、従来の日本的な療育では限界を感じ、より良い療育を模索するように。その中で出会ったのがABAだったのです。

—そのABAが日本ではまだ広まっていない。これには、どのような理由が？

大きな要因は文化にあると思います。「Yes」

か「No」しかない西洋とは違い、日本は曖昧さが重んじられますよね。もちろんそれには良い面もありますが、こと障害児福祉の領域においては曖昧性が問題となります。日頃から子どもたちと接する職員たちが子どもたちの様々な行動から意図を汲み取る、それはプロとして当然のことです。しかし、本当に大事なものは、子どもたちが社会に出た時にどんな相手にも伝わる方法で意思表示ができるように教えていくこと。何がダメで何が良いのか、しっかり線引きをしてスキルを獲得させていくことが大切なのです。残念ながら、現状日本で特別支援教育に携わる先生方の多くも、ABAを学んでいません。ただ、既に発達障害の子を持つ親御さん方にはABAが認知されてきており、大都市圏ではABAの有料サービスに利用者が殺到しているようです。—本当なら西洋のように、公費の範囲内で提供されてほしいところですね。

おっしゃる通りです。ただ、日本の現状では難しい。だからこそ当社では、公費サービスである障害児通所支援事業の中にABAを組み込んでいるんです。このサービスを継続し、同じような事業所を増やしていくためにも当社では国際資格であるBCBA-D（認定行動分析士博士）とBCBA（認定行動分析士）の2人をスーパーバイザーに招き、月4回のペースで研修を実施するなど人材育成に力を注いでおります。当社からABA療育の考え方を広め、子どもたちが「生きる力」を最大限に発揮できるような社会を築いていきたいですね。